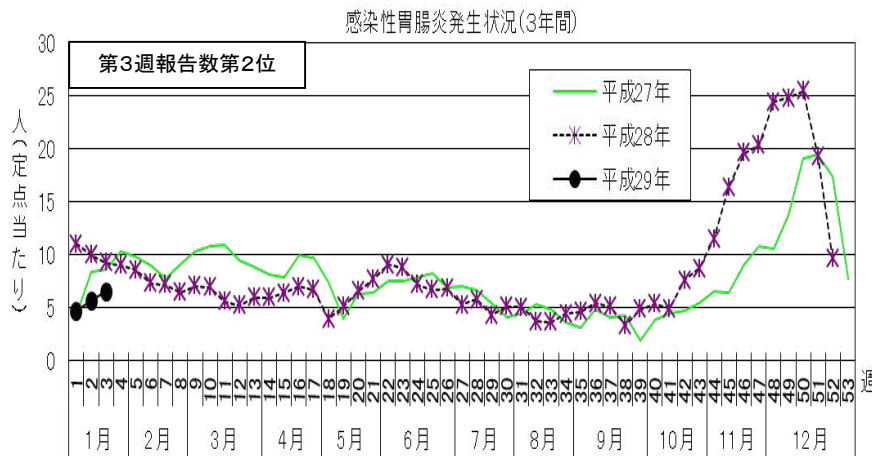
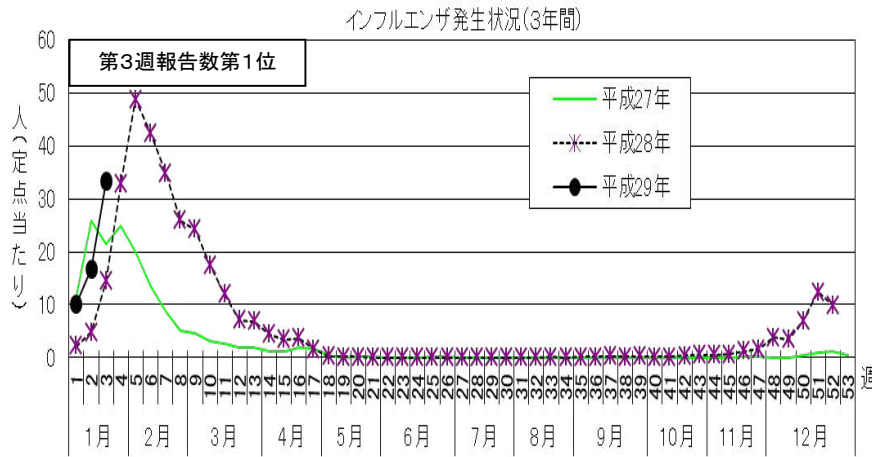


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年1月16日（月）～平成29年1月22日（日）〔平成29年第3週〕の感染症発生状況

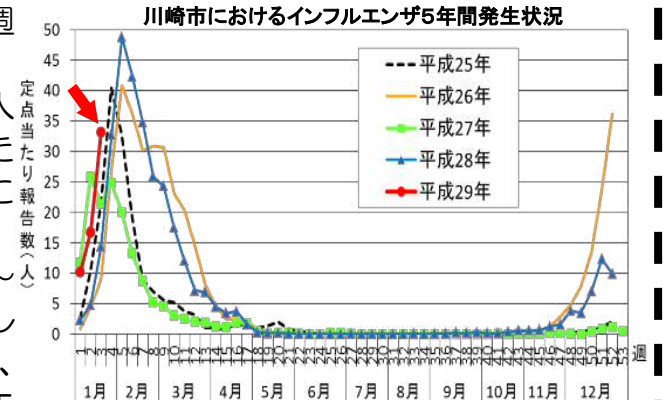
第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は33.23人と前週（16.75人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.47人と前週（5.66人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.22人と前週（2.00人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



インフルエンザ流行発生警報発令！！

川崎市では、インフルエンザの第3週（平成29年1月16日～1月22日）の定点当たり患者報告数が33.23人となり、流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

年齢階級別では、前週と比べて1歳～14歳の子ども患者数が大幅に増加しています。インフルエンザにかからない、拡げないために、引き続き手洗いや咳エチケットなどを心掛けましょう。



④人混みや繁華街への外出を避ける

①ワクチン接種

②咳エチケット

予防対策

⑤十分な休養とバランスのとれた食事

③手洗い

④適度な温度の保持

